「ずっと住みたい 緑にあふれた 安心・安全なまち」を目指して

町長　野川　和好

施政方針

私が町長に就任いたしましてから間もなく3期12年が経とうとしております。就任以来、「だれもが安心して安全に暮らせるまちづくり」を念頭に置き、多くの皆様のご指導やご協力のもと、一意専心、町政運営に取り組んでまいりました。

この12年を振り返ってみますと、1期目におきましては町内3か所に安心安全ステーションを設置、小針北小学校の開校、北保育所、子育て支援センター、心身障害児通園施設を開設いたしました。

安心安全ステーション

2期目では、栄中央通りのバリアフリー化、新幹線側道一方通行化などの基盤整備のほか、中学校卒業までの子ども医療費の無料化、私立認可保育園への助成など子育て支援の充実に努めてまいりました。また、安心安全な教育環境の整備として、小針小学校体育館の建替え、小針北小学校の増築、小中学校の耐震化等に取り組んでまいりました。

3期目では、つくばみらい市と友好都市協定を、山形県鮭川村とは災害時における相互応援に関する協定を締結しました。また、消防力の向上を図るため消防自動車2台を更新、教育面では町内全ての小中学校にエアコンを設置しました。そして、町の基盤整備として、この3月にいな穂街道の全線開通を予定しております。

いな穂街道

このように各分野において事業を展開し、私が町長に就任いたしました平成16年に約3万5千人だった町の人口も、現在では、約4万4千人と大幅に増加し、町も大きく発展いたしました。これもひとえに議員各位のご協力と町民の皆様のご理解の賜物と、厚く御礼を申し上げる次第でございます。

さて、昨今のわが国の経済情勢をみますと、ご案内の通り、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策の推進により、雇用・所得環境が改善し、原油価格の低下等により交易条件が改善するなかで、緩やかな回復基調にあると言われてきました。しかし、ここに来てマイナス金利や為替と株相場の急激な変動など、不安定な状況が続いております。さらに今後の見通しでは、平成29年4月の消費税率引き上げをめぐる動きとして、家電や自動車が中心の駆け込み需要も、前回よりは規模が小さくなると予測されております。また、税率引き上げ時からの軽減税率導入が盛り込まれておりますが、収入に対する税の負担率の点で、効果的ではないとの指摘も挙げられております。

このように今、まさに混迷の時代となりましたが、未来を担う子どもたちのために、しっかりと将来を見据え、適宜を逃すことなく先手、先手で対策を打ち込んでいく必要があります。こうしたことを踏まえ策定しました伊奈町総合振興計画で、町の将来像として掲げた「ずっと住みたい緑にあふれた　安心・安全なまち」の実現を目指し、町民の皆様の安心・安全を守るべく、引き続き諸施策に取り組んでまいりたいと存じます。

伊奈町総合振興計画前期基本計画に基づく平成28年度の主な施策

①安心・安全なまちに暮らす

「地域防災力の向上」では、町防災行政無線をアナログ方式からデジタル方式に更新し、多様化・高度化する通信ニーズへの対応に着手することにより、町の防災力を一層強化します。

また、「消防・救急体制の充実」では、引き続き上尾市との消防広域化に向けた協議を進めるとともに、北部地域の「きんもくせい公園」および南部地域の「綾瀬児童公園」に耐震性防火貯水槽を設置し災害時の消防設備の充実を図ります。

「地域防犯体制の充実」では効果的な防犯環境の向上を図るとともに、省エネルギーによる環境への配慮を進めるため、街路灯のＬＥＤ化に着

手いたします。

②健康で心安らぐまちに暮らす

「生涯を通じた健康づくり」では、健康長寿の推進を図るため「毎日1万歩運動」を新たに実施するとともに、昨年から開始した「健康マイレージ事業」を引き続き実施するなど、各種健康づくり対策事業を継続して実施し、町民の健康増進を図ってまいります。

③豊かな心を育むまちに暮らす

「子ども・子育て支援の充実」では、中部地区に開園する「きむら伊奈保育園」内に、町内4か所目となる子育て支援センターを新たに開設し、子育て支援の充実を図ります。

また、町立保育所の土曜日終日保育を実施し、さらなる保育の充実を図ります。

教育関係では、小室小学校南校舎の屋上・外壁改修、学校給食センターの設備改修等、教育環境の充実を進めます。

また、奨学資金貸付事業の拡充により将来を担う人材の育成に取り組んでまいります。

④緑あふれる、にぎわいのあるまちに暮らす

「緑の快適空間づくり」では、緑のトラスト保全第13号地「無線山・KDDIの森」のボランティアによる保全・管理を進めてまいります。

無線山・KDDIの森

「環境にやさしい地域づくり」では、クリーンセンターの老朽化対策に引き続き取り組みます。

また、安全な水道水の供給のため、配水管等の耐震化を進めるとともに、水道事業の健全経営を進め、サービス向上に努めます。

河川等の水質浄化のため、下水道や合併処理浄化槽の整備も引き続き進めます。

「良好な市街地の形成」では、上尾市と連携し境橋の本橋設置を引き続き進めてまいります。また、浸水対策として排水路整備を計画的に進めてまいります。

「利便性の高い公共交通」では、伊奈中央駅へのエレベーター設置に向けた調整、また、循環バス「いなまる」の利用状況の調査を行い、利用者の利便性向上を目指します。

「地域特性を活かした都市農業の振興」では、老朽化した用水路の計画的な改修を進めるとともに、町の農地と農業を守るため新規就農者をはじめとした、担い手の育成支援に積極的に取り組んでまいります。

「まちのにぎわいを創る事業活動の活性化」では、町内事業者に対する受注促進支援事業など景気対策事業を関係団体と協力して実施します。

また、昨年より実施し好評をいただいている、ふるさと寄附金事業につきましても町内各事業者等のご協力をいただきながら充実を図ってまいります。

⑤町民と行政が協働するまちに暮らす

町民討議会

「町民参画と情報共有化の推進」では、ホームページやフェイスブックを通じたリアルタイムの情報発信に努めます。また、埼玉中央青年会議所と共催で町民討議会を引き続き実施し、町民の町政への積極的参加を促してまいります。

「経営的視点に立った行政運営、計画的な財政運営」では、計画的で効率性の高い行政運営を行うとともに、長期的な視点に立ち持続可能な財政運営に取り組んでまいります。また、地方創生の推進に関しましては、現在策定中の「伊奈町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき事業を進めてまいります。

「人権尊重・男女共同参画の推進」では、すべての町民がお互いの人権を尊重しながら共に生きる社会をめざし、人権教育・啓発活動に努めてまいります。

予算編成方針

国の平成28年度地方財政対策におきましては、景気回復等により地方税等が伸長し、リーマンショック前の水準にまで回復することが見込まれる一方で、社会保障関係費の自然増が見込まれることなどにより、依然として地方の財源不足が生じるものとしております。

町の財政状況につきましては、景気の緩やかな回復が続いているものの、税制改正等の影響もあり、歳入の根幹をなす町税は、全体として微減となる見込みです。また、地方交付税や地方消費税交付金は増加が見込まれますが、臨時財政対策債の減少もあり、一般財源の増加は期待できません。

歳出におきましては、介護・医療をはじめとした社会保障関係費が増加の一途をたどっております。

また、防災・減災関連事業や各公共施設における老朽化対策、維持管理・整備に要する多額の財政需要が見込まれる状況でございます。

こうした厳しい財政状況のなか、平成28年度の予算編成に当りましては、事業を厳選し、経費の削減にも取り組みました。また、各種補助金等を積極的に活用するとともに、財源不足を補うため地方債や財政調整基金等を最小限利用することにより予算編成いたしました。

予算の詳細については5月号でお知らせします